

ベストクラス選定理由書

作成者：榎本良祐、石橋千恵、稲垣導彦、常峰丈裕、福田裕子、山中一英

科目名称 実用外国語演習(Practical Foreign Languages Seminar) (担当教員名：クレア・グレイディ・川崎 由花)	
課程：大学院（専門職）	開講時期：前期
授業形態：演習	授業規模：30人以下
インタビュー対象教員名 川崎 由花 (実施日時：8月18日(水) 18:00~19:00 ; 実施場所：Zoomによる実施)	
インタビュー対象受講者名 梶原 楓也、山本 和恵 (実施日時：8月19日(木) 18:00~19:00 ; 実施場所：Zoomによる実施)	
選定理由 本科目では英語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」ことに焦点を合わせ、実用的な場面設定のもと、グローバルな社会で実際に役立つ英語力を育成することを目標としている。受講生（5名）は現職教員とストレート大学院生がおり、英語レベルは初心者から上級者まで様々であった。授業評価アンケートでは評価項目の平均値が高く、また、自由記述欄についても全員が記述しており、内容もポジティブなものであった。「今まで受けてきた英語の授業で一番楽しかった」や「全員が楽しみ学べるよう工夫されていて、授業の組み立て方を参考にしたい」という記述があり、外国語という個人の能力差が大きく表れる教科において、全員が主体となって楽しみながら学べる授業となっていたことが伺えた。また、担当教員と受講生へのインタビューから、受講生が英語を楽しく学ぶことできるような身近で興味関心が持てるテーマが準備されていることや英語の習熟度に応じて各々が到達レベルを設定できるような課題であったことがわかった。すべての受講生が達成感を感じ、英会話に対する自信につながるようなチャレンジングな課題設定がなされていた。受講生は常に刺激を受けながら最後まで高いモチベーションを維持し、主体的に参加できていたことがわかった。また、受講生同士がお互いを尊重する雰囲気やお互いの発話を受け入れる優しい雰囲気を持つ学習コミュニティが形成されており、英会話が初心者の受講生も臆することなく積極的に発言できる学習空間となっていたことが分かった。以上を踏まえ、本科目をベストクラス候補に選定した。 【担当教員へのインタビューより】 <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な生活で使える実用的な英語及び海外での学校訪問やインタビューを行う講座〔グローバルフィールドワーク（必修）〕の際に使える英語を想定して行っていた。 ・易しい表現から始めて、最終的には難易度の高い表現に到達できるような構成にしていた。 ・受講生全員にとって易し過ぎず、また難し過ぎないように心がけていた。同じ課題においても到達レベルが様々に設定できよう、またチャレンジングな課題となるように工夫していた。 ・状況設定をしてペアワークを行い、なるべく発話を多くしていた。教員があまり話さず、受講生からの発話を促し、間違っても逐一修正せずに、自信をもって会話ができるようにしていた。 【受講生へのインタビューより】 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな課題に関わる中で、海外の教育事情やグローバル教育を理解したい気持ちが強くなった。 ・授業の進め方や動機づけ、またモチベーションの維持について今後の教育活動の参考になった。 ・コミュニケーション能力を高めるための大切なヒントがたくさんあった。 	